

動物実験に関する自己点検・評価報告書

東洋大学

2020年8月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

<p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程を定めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 機関内規程を定めていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>東洋大学動物実験等の実施に関する規程</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>環境省「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」（以下「飼養保管基準」という。）と文部科学省「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」（以下「基本指針」という。）に則って、研究機関の長である学長の下、東洋大学動物実験等の実施に関する規程（以下、規程という）を整備し平成 23 年 12 月 1 日より施行している。</p> <p>基本指針で求められる動物実験委員会の委員を構成する 3 種のカテゴリーが規程に明記されていない。また、人と動物の共通感染症への対応について、規程に明記されていない。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>基本指針で求められる委員会構成要件および人と動物の共通感染症への対応を明確にするよう、規程を 2020 年度中に改正する。</p>

2. 動物実験委員会

<p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置していない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>東洋大学動物実験等の実施に関する規程、東洋大学動物実験委員会委員名簿</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>規程に基づき動物実験委員会を設置している。委員は、動物実験を実施する部局の代表者の他、動物実験・実験動物に優れた学識経験をもつ学外者、人文・社会科学系の教員を加えている。</p> <p>上述したとおり、基本指針で求められる動物実験委員会の委員を構成する 3 種のカテゴリーが規程に明記されていない。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>基本指針で求められる委員会構成要件を明確にするよう、規程を 2020 年度中に改正する。</p>

3. 動物実験の実施体制

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>東洋大学動物実験等の実施に関する規程、動物実験計画書様式、動物実験計画変更承認申請書様式、動物実験計画変更届出書様式、動物実験終了（中止）報告書様式、飼養保管施設設置承認申請書様式、実験室設置承認申請書様式、施設等（飼養保管施設・実験室）廃止届様式、飼養保管数等報告書様式</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>規程により、動物実験計画の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当せず。</p>

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。</p> <p><input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>東洋大学動物実験等の実施に関する規程、東洋大学遺伝子組換え実験等安全管理規程、東洋大学板倉キャンパスにおける遺伝子組換え動物実験の実施に関する指針、東洋大学川越キャンパスにおける遺伝子組換え動物実験の実施に関する指針</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>板倉キャンパス・川越キャンパスにおいて遺伝子組換え動物実験を実施している。遺伝子組換え動物実験の実施にあたっては、「東洋大学板倉キャンパスにおける遺伝子組換え動物実験の実施に関する指針」「東洋大学川越キャンパスにおける遺伝子組換え動物実験の実施に関する指針」を定め、遺伝子組換え動物の拡散防止を図っている。また、遺伝子組換え動物実験は「東洋大学遺伝子組換え実験等安全管理規程」に基づく遺伝子組換え実験の実施承認を得たうえで、動物実験委員会の審議を経て学長が承認した計画を実施している。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当せず。</p>

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果 ■ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 東洋大学動物実験等の実施に関する規程、飼養保管施設設置承認申請書様式、実験室設置承認申請書様式、動物実験委員会 議事録
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 飼養保管施設・動物実験室の設置にあたっては、部局長の申請に基づき動物実験委員会による書類審査および実地調査が行われ、その助言を受けて学長が設置の承認を行っている。 飼養保管施設では、実験動物管理者・動物実験責任者の下で飼養者が実験動物の管理を行っている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

--

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>東洋大学動物実験等の実施に関する規程、動物実験委員会委員名簿、動物実験計画書、動物実験計画変更承認書、動物実験終了（中止）報告書、飼養保管施設設置承認申請書、実験室設置承認申請書、動物実験委員会 議事録</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>規程に基づき、申請を審議・調査を行い、学長へ報告・助言を行っている。また、学長に報告された結果について基本指針・規程に適合するか確認を行っている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当せず。</p>

2. 動物実験の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>東洋大学動物実験等の実施に関する規程、動物実験計画書、動物実験計画変更承認書、動物実験終了（中止）報告書、動物実験委員会議事録、動物実験計画一覧表、動物実験の自己点検票</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>2019年度においては、2018年度実施（変更）分1件・2019年度実施分7件・2019年度実施（変更）分4件・2020年度実施分30件の実験計画の審査を実施し、規程に適合することを確認し学長へ報告した。また、2018年度実施分36件の実験終了（中止）報告について、適正に実施されていることを確認し、学長へ報告した。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当せず。</p>

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>東洋大学動物実験等の実施に関する規程、東洋大学板倉キャンパスにおける遺伝子組換え動物実験の実施に関する指針、東洋大学川越キャンパスにおける遺伝子組換え動物実験の実施に関する指針、動物実験計画一覧表、動物実験の自己点検票</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>板倉キャンパス・川越キャンパスにおいて遺伝子組換え動物実験を実施している。遺伝子組換え動物実験の実施にあたっては、「東洋大学板倉キャンパスにおける遺伝子組換え動物実験の実施に関する指針」「東洋大学川越キャンパスにおける遺伝子組換え動物実験の実施に関する指針」を定め、遺伝子組換え動物の拡散防止を図っている。また、実験は「東洋大学遺伝子組換え実験等安全管理規程」に基づく遺伝子組換え実験の実施承認を得たうえで、動物実験委員会の審議を経て学長が承認した計画を実施している。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当せず。</p>

4. 実験動物の飼養保管状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>動物実験等の実施に関する規程、朝霞キャンパス動物実験等の実施に関する細則、川越キャンパス動物実験等の実施に関する細則、板倉キャンパスにおける飼養及び保管に関する細目、実験動物飼養保管施設状況の自己点検票</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>各キャンパスで定められた細則・細目に基づき管理を実施している。</p> <p>実験動物は適正に飼養保管されていたが、一部のキャンパスの飼養保管マニュアルに改善すべき点が見られた。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>一部のキャンパスの飼養保管マニュアルを2020年度中に改訂する。</p>

5. 施設等の維持管理の状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>動物実験等の実施に関する規程、朝霞キャンパス動物実験等の実施に関する細則、川越キャンパス動物実験等の実施に関する細則、板倉キャンパスにおける動物実験等の実施に関する細則、実験動物飼養保管状況の自己点検票</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>各キャンパスにおいて定められた細則に基づき管理を実施している。</p> <p>施設の設置時に規程が求める設置基準を満たしていることを全学動物実験委員会が実地調査を行い確認しており、実験動物飼養保管状況の自己点検票で適正に維持管理を行っていることを把握している。一部のキャンパスの環境条件の記録に改善すべき点がみられた。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>一部のキャンパスの環境条件の記録について 2020 年度中に改善を図る。定期的な施設の調査・視察に努める。</p>

6. 教育訓練の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>動物実験教育訓練実施報告、動物実験委員会議事録</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>各キャンパスで実施した動物実験教育訓練の訓練内容・講師・受講者等は動物実験委員会に報告され、適正に訓練が実施されていることを確認した。</p> <p>一部のキャンパスにおいて、人獣共通感染症の内容が不足していた。また、対象に応じた教育訓練機会が十分に設けられていない。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>一部のキャンパスにおいて教育訓練内容に人獣共通感染症の内容が不足していたので、次年度からはその内容を充実させた訓練を行う。また、対象に応じた教育訓練機会の確保に努める。</p>

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験等の実施に関する規程、自己点検・評価チェックリスト、2019年度動物実験に関する自己点検・評価報告書、東洋大学 HP「動物実験について」 https://www.toyo.ac.jp/about/effort-activity/animal_experimentation/
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 全学動物実験委員会での点検項目とキャンパス動物実験委員会での点検項目を定め、自己点検・評価を実施した。自己点検・評価報告書をはじめとして、動物実験に関する情報を公開している。 動物実験委員会の構成に関する情報公開項目に一部不足がみられた。
4) 改善の方針、達成予定時期 動物実験委員会の構成に関する情報公開項目に一部不足がみられたため、次年度より公開することにした。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

--